

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公表番号】特表2012-533767(P2012-533767A)

【公表日】平成24年12月27日(2012.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2012-055

【出願番号】特願2012-520595(P2012-520595)

【国際特許分類】

G 03 B	21/14	(2006.01)
G 03 B	21/00	(2006.01)
G 02 B	5/30	(2006.01)
H 04 N	13/04	(2006.01)
G 02 B	27/26	(2006.01)
G 02 B	26/00	(2006.01)
G 03 B	35/16	(2006.01)

【F I】

G 03 B	21/14	Z
G 03 B	21/00	F
G 02 B	5/30	
H 04 N	13/04	
G 02 B	27/26	
G 02 B	26/00	
G 03 B	35/16	

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月26日(2013.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1偏向状態の偏光照明光を随時生成する光源サブシステムと、

その偏向照明光の光路上にあり、径方向に沿い外寄りに透光部及び遮光部、内寄りに反射部及び透光部が互い違いに現れており、且つその内寄り反射部が外寄り透光部に連なる回動多部分ディスクを用い、偏向照明光から第1及び第2光ビームを交番的に生成するビーム分割サブシステムと、

第1及び第2光ビームのうち一方の光路上にあり、そのビームの偏向状態を第1偏向状態からそれと全く又はほぼ直交する第2偏向状態へと回転させる偏向回転器と、

第1光ビームと第2光ビームを結合することで結合光ビームを生成する光結合サブシステムと、

立体像データに従い結合光ビームを変調することで、結合光ビームを形成する照明光のうち第1偏向状態のものから第1変調像、第2偏向状態のものから第2変調像を生成する空間光変調器と、

第1及び第2変調像を表示面上に投射する投射サブシステムと、

を備えるディジタル立体像投射機。

【請求項2】

請求項1記載のディジタル立体像投射機であって、上記内寄り透光部を透過した偏向照

明光が第1光ビーム、上記内寄り反射部で反射され上記外寄り透光部を透過した偏向照明光が第2光ビームとなるディジタル立体像投射機。

【請求項3】

請求項1記載のディジタル立体像投射機であって、コヒーレンス偽像が低減されるよう上記回動多部分ディスクの一部又は全体に亘り模様が付されたディジタル立体像投射機。